

RYOWA REPORT

第70期 中間期 業績のご報告

平成30年4月1日～平成30年9月30日

空
気
と
水
の
テ
ク
ノ
ロ
ジ
ー



- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ 特集：テクノ菱和R&Dセンター竣工
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第70期（平成30年4月1日から平成31年3月31日）の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。

環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。

人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬

意志疎通の徹底

技術力の研鑽

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境は
いかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、米国の保護主義的な通商政策に起因する先行きの不透明感は拭えなかったものの、好調な企業収益を背景とした設備投資意欲の高まりと所得環境の改善により、内需主導による緩やかな景気回復が続きました。

建設業界におきましては、慢性的な人手不足への対応や資機材価格の上昇基調により、引き続きコスト上昇圧力が強まっているものの、国内外の景気動向が緩やかな回復基調にあるなか企業の設備投資は堅調に推移しているため、良好な受注環境を維持しました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は受注高36,286百万円、売上高27,371百万円、営業利益969百万円、経常利益1,206百万円、中間純利益767百万円となりました。

当中間期は、受注については、産業設備工事、一般ビル設備工事ともに前年同期を上回る受注量を確保しました。特に産業設備工事については、好業績を背景とした企業の活発な設備投資を反映してデバイス関連分野や医薬品関連分野での受注が堅調に推移しました。収益については、前年度から繰り越した工事が順調に進捗したことより売上高は増加し、利益についても、工事粗利益率の改善と売上高の増加により前年に比べ増加したことから増収増益となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受注高	36,286	32,115
売上高	27,371	25,938
営業利益	969	523
経常利益	1,206	621
中間純利益	767	373

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。

Q 上半期の取り組みについて教えてください。

A 当期は「先輩の築いた財産を守り、新しい価値を加えて後輩に残そう」というスローガンを掲げております。これは変化を続ける社会のニーズに対応するために、絶えず新しい付加価値を加えて次世代に引き継いでいこうというものです。当中間期においては、大型化・多様化する案件に対し、適切かつタイムリーな受注判断を行うための社内体制を整え、個別案件毎にさまざまな角度から受注判断を行うことで、産業設備および一般ビル設備の両分野において前年同期を上回るバランスのとれた受注を確保することができました。また、創業時より培ってきた環境制御技術とIoTやAIといった先端技術を融合し既存システムの機能拡張に取り組み、お客様のニーズに対応することで、企業競争力の強化に努めてまいりました。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期の国内経済については、高水準な企業収益を背景として、緩やかな回復基調が続くことが見込まれます。建設業界においても、景況感の改善に伴い国内企業の「合理化・省力化」に向けた設備投資需要の高まりが期待されますが、一方で慢性的な人手不足による人件費の高止まりが続き、資機材価格の高騰も懸念されるため、今後もコスト上昇傾向が続くことが予想されます。こうした状況を踏まえ、当社

としては、引き続き原価管理の徹底を推進するとともに、ますます需要の高まる合理化・省力化投資に対応するシステム開発を進めることで他社との差別化を図り、収益力向上を目指してまいります。

当期の連結業績見通しにつきましては、10月31日に期初計画を上方修正し、売上高65,500百万円、営業利益2,760百万円、経常利益3,100百万円、当期純利益1,990百万円を見込んでいます。

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 本年9月に当社の新たな研究開発拠点となる「テクノ菱和R&Dセンター」が竣工いたしました。省エネ・環境技術の発信拠点として当社のコア事業である環境エンジニアリングの中核を担う施設となります。今後も産業設備分野での競争力強化のため、関連



技術の研究開発に経営資源を投入し、更なる収益力の向上に努めてまいります。

また、多様化する経営環境に対応するため、本年10月に新たな組織としてCSR推進本部を新設いたしました。今後はCSR活動の充実を図るとともに、当社のブランド力を高めるIR・広報活動を実践してまいります。

なお、当期末の配当金につきましては、1株につき11円とし、年間では前期と同額の1株につき22円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
受注高	61,000	62,778
売上高	65,500	60,654
営業利益	2,760	3,242
経常利益	3,100	3,425
当期純利益	1,990	2,306

名糖産業株式会社瀬戸工場



本物件は、同社の主力製品であるチョコレート製品の生産能力の増強と効率化を図るため、既存の生産拠点である名古屋工場から製造部門を移管し、愛知県瀬戸市に建設された新工場です。空調方式としては、ガス焚き吸収式冷温水発生機と空冷式チラーを併用しております。また、当社開発の中央監視システム(TECBEAMS®)およびクラウド型設備運用サービス(smartSOLAVICE)を導入することできめ細かい温湿度・室圧制御を実現しております。

概要	
完成年月	2018年9月
施工地	愛知県瀬戸市
建物用途	食品工場
延床面積	25,014.90㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事

株式会社学研ココファン ココファン柿生



本物件は、神奈川県川崎市に建設されたサービス付き高齢者向け住宅です。当施設では要介護者向けの1人用居室およびキッチン・浴室を備え付けた自立向け2人用居室を設け、さまざまな用途に合わせたサービスを提供しております。空調設備としては個別空調方式を採用しております。消火設備には建物規模と用途に合わせパッケージ型自動消火設備を導入することで設備のメンテナンス性を向上しています。

概要	
完成年月	2018年7月
施工地	神奈川県川崎市
建物用途	サービス付き高齢者向け住宅
延床面積	2,278.00㎡
物件形態	地上4階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

トオカツフーズ株式会社千葉柏工場



本物件は、同社の生産体制変更に伴い既設の野田工場より移転・新設された食品工場であり、3台の炊飯ラインを保有する日本有数の大型米飯工場であります。製造ラインには積極的に自動化設備を導入しHACCP(※)対応型のレイアウトとなっております。食品工場としての製造環境維持と臭気対策のため、中温用パッケージエアコンと光触媒方式の脱臭設備を採用しております。また、エネルギー管理システムとして当社開発のクラウド型BEMS(R-Second Sight)の導入を予定しております。(※)HACCP：食品製造工程を管理し、製品の安全性を確保する衛生管理の手法

概要	
完成年月	2018年5月
施工地	千葉県柏市
建物用途	食品工場
延床面積	11,046.72㎡
物件形態	地下1階地上3階
工事範囲	空調・衛生設備工事

社会医療法人緑泉会米盛病院増築棟



本物件は、急性期治療を経た患者さまの日常生活動作の能力向上を図り、社会復帰を目指すための回復期リハビリテーション病棟です。同法人の運営するリハビリ施設の移転・統合にあたり米盛病院に併設する新棟(西棟)として建設されました。空調方式はパッケージユニット式を採用し、各階個別に設置しております。また、桜島に近いという立地から、噴煙に含まれる粒子の細かい火山灰を除去するため、外気処理空調機に火山灰フィルターを採用するなど、地域特性に応じた設備を導入しております。

概要	
完成年月	2018年5月
施工地	鹿児島県鹿児島市
建物用途	病院
延床面積	6,906.00㎡
物件形態	地上7階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

特集 テクノ菱和R&Dセンター竣工

かねてより横浜市に建設を進めておりました、当社の新たな研究開発拠点である「テクノ菱和R&Dセンター」が本年9月に完成いたしました。

当施設は、中長期経営ビジョン2023で掲げた「当社で培った特色のある技術を駆使した事業展開を目指す」という基本方針に則り、当社のコア事業である環境エンジニアリングに関する要素技術の研究、開発および実証を行う施設であります。

今回は、当施設の概要とその特色をご紹介します。

【当施設の特色】

テクノ菱和R&Dセンターは当社の「省エネ・環境技術の発信拠点」として位置づけており、執務室内の快適性と高い省エネ性能を両立した環境配慮型の施設となっています。当初計画段階からBELS評価^(※1)取得を目指し、さまざまな省エネ技術を取り入れることによりBELS評価★5およびNearly ZEB^(※2)に認証されました。

※1 BELS 評価：建築物の省エネ性能を評価し格付けする第三者認証制度。★5は最高ランク。

※2 Nearly ZEB：国の定める省エネ基準に比べ75%以上の省エネを達成していることを示す。



[技術開発研究所 執務室]



[化学実験室]



施設概要

所在地 神奈川県横浜市

構造等 S造3階建て

延床面積 2,397.40㎡

施設概要 技術開発研究所・横浜支店

採用した 主な 省エネ 技術

高度な室内環境制御を実現

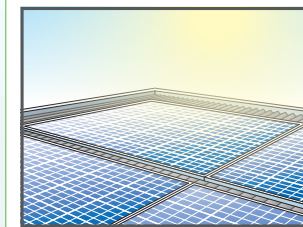
施設内に設置した画像センサなどの情報を活用し空調・換気・照明を制御するとともに、太陽高度追従型のブラインド制御を実装するなど高度な室内環境制御を実現しています。また、IoTを活用した当社の開発システム「smartSOLAVICE」を導入しエネルギーの見える化をいっつ、AI技術との親和性を検証しています。



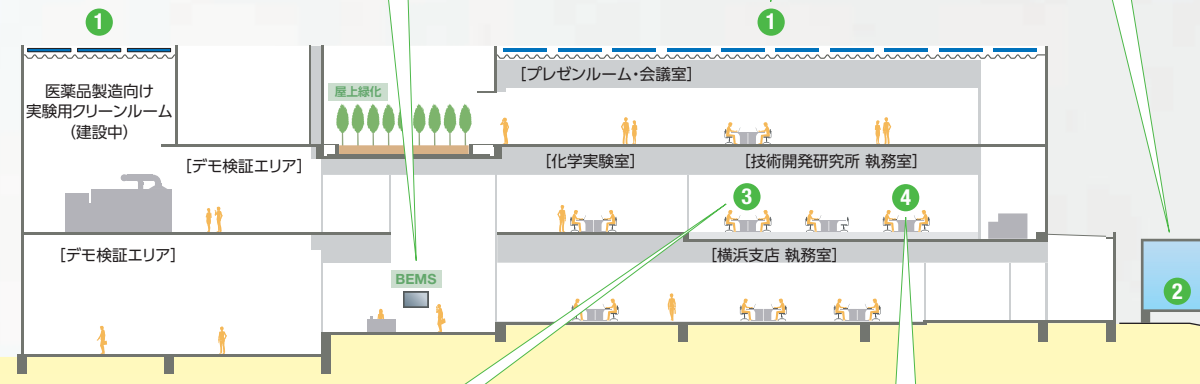
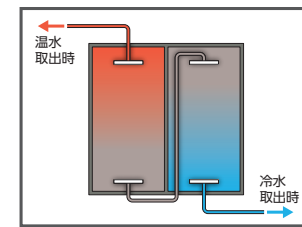
省エネ設備の導入とAI技術の活用

太陽光発電と温度成層型水蓄熱槽を組み合わせたVPP(バーチャルパワープラント：仮想発電所)を構築します。IoTを用いて収集した運転データをAIおよびエッジコンピューターを利用し一体的に制御することで、蓄熱(蓄電)および発電エネルギーを効率的に利用し、かつ自在にエネルギーコントロールを行うための実証実験を行います。

① 太陽光発電システム



② 水蓄熱システム



省エネと快適性を兼ね備えた空調方式の採用

執務室内の全体空調には風を使わない輻射空調方式を採用しました。画像センサと連動した床吹出空調(タスク空調)と組み合わせることで、省エネ性と快適性を兼ね備えた環境を実現しています。

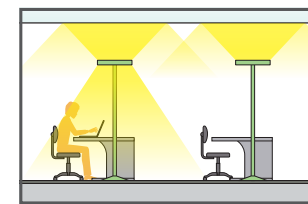
③ 輻射/床吹出タスク空調



タスクアンビエント照明の採用

執務室全体を照明するアンビエント照明(ベース照明)と机上等の作業スペースで照度を確保する(タスク照明)を組み合わせたシステムを採用し、消費電力の削減を図っています。

④ タスクアンビエント照明



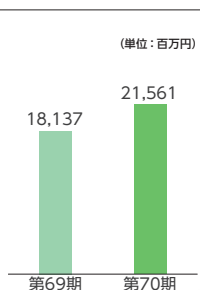
受注高 36,286 百万円 < 前年同期比 13.0%増 >	売上高 27,371 百万円 < 前年同期比 5.5%増 >	経常利益 1,206 百万円 < 前年同期比 94.1%増 >	中間純利益 767 百万円 < 前年同期比 105.7%増 >
---	--	---	---

受注高構成比
(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

59.4% 21,561百万円

当中間期は、好業績を背景とした企業の活発な設備投資を反映して、デバイス関連分野や医薬品関連分野での受注が順調に推移したことから前年同期を上回る受注量を確保できました。今後も当社の得意とする産業設備工事の受注拡大に注力するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

3.0% 1,087百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

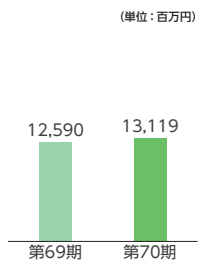
1.4% 518百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

36.2% 13,119百万円

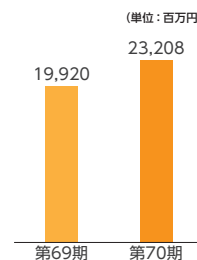
当中間期は、官公庁工事を中心に受注が堅調に推移し、前年同期を上回る受注量となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し受注量の確保に努めてまいります。



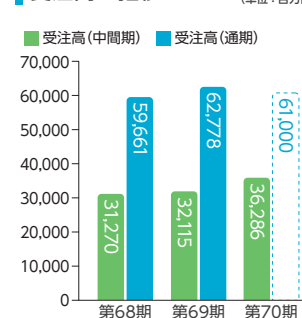
設備改善工事

64.0% 23,208百万円

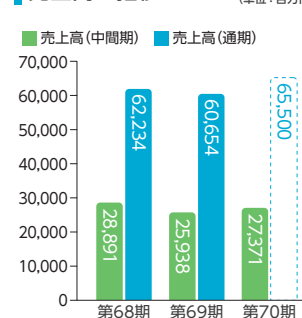
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



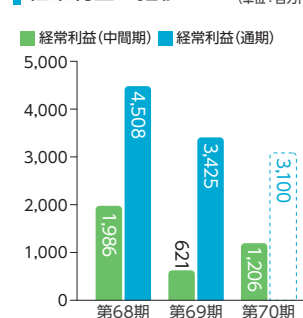
受注高の推移



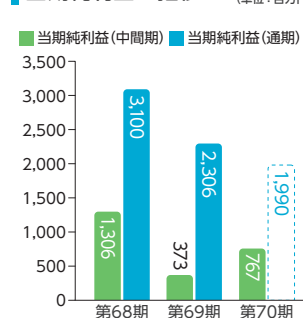
売上高の推移



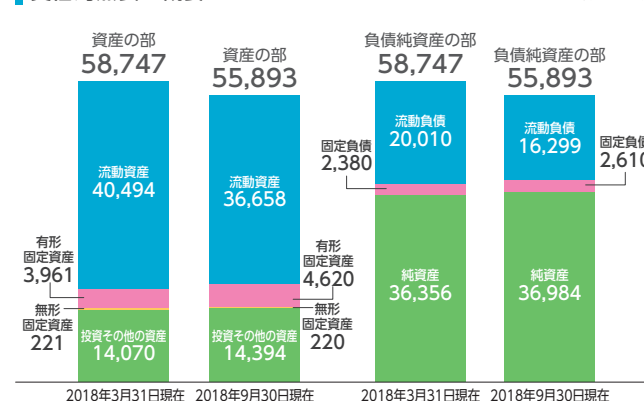
経常利益の推移



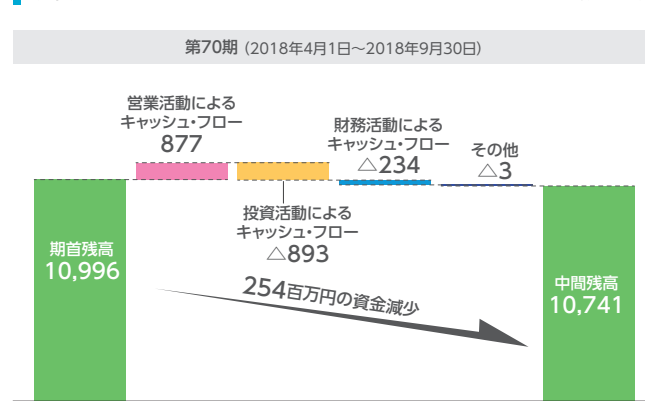
当期純利益の推移



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

資産の部 流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の減少41億円、有価証券の増加4億円、固定資産における有形固定資産の増加6億円を主な変動要因として、前期末と比較して28億円減少し、558億円となりました。	負債の部 流動負債における支払手形・工事未払金等の減少28億円、電子記録債務の減少14億円、未成工事受入金の増加5億円、固定負債における繰延税金負債の増加1億円を主な変動要因として、前期末と比較して34億円減少し、189億円となりました。	純資産の部 利益剰余金の増加4億円およびその他有価証券評価差額金の増加1億円を主な変動要因として、前期末から6億円増加し369億円となり自己資本比率は前期末と比較して、4.3ポイント上昇し66.2%となりました。	キャッシュ・フロー 税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加12億円、法人税等の支払いによる資金減少4億円、有価証券および有形固定資産の取得による資金減少10億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して2億円減少し、107億円となりました。
---	---	--	---

詳しい情報はウェブサイトへ



会社概要 (平成30年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 昭和24年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所市場第二部

従業員 722名 (連結837名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 一般ビル設備関連事業
- 電気設備工事業
- 電気設備工事業
- 太陽光発電事業
- 不動産賃貸事業
- 保険代理事業
- 冷熱機器販売事業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市) 名古屋支店(愛知県名古屋市)

東京本店(東京都豊島区) 静岡支店(静岡県静岡市)

千葉支店(千葉県千葉市) 大阪支店(大阪府大阪市)

茨城支店(茨城県土浦市) 中国支店(岡山県倉敷市)

北関東支店(埼玉県さいたま市) 九州支店(福岡県福岡市)

東北支店(宮城県仙台市) 海外事業部(東京都豊島区)

横浜支店(神奈川県横浜市)

役員 (平成30年10月1日現在)

取締役

代表取締役 黒田 英彦

取締役 飯田 亮輔

取締役 知見 扶公

取締役 鈴木 孝孝

取締役 根岸 孝雄

取締役(社外) 武田 公温

取締役常勤監査等委員 雑賀 純二

取締役監査等委員(社外) 小栗 章雄

取締役監査等委員(社外) 本間 正広

執行役員

社長執行役員 黒田 英彦

専務執行役員 飯田 亮輔

専務執行役員 知見 扶公

常務執行役員 鈴木 孝孝

常務執行役員 星野 宏一

常務執行役員 根岸 孝雄

上席執行役員 松橋 秀明

上席執行役員 黒田 長憲

上席執行役員 窪 和敏

上席執行役員 加藤 雅也

上席執行役員 福士 富三

上席執行役員 大石 勉

執行役員 永崎 公幹

執行役員 鈴木 俊夫

執行役員 袴田 一博

執行役員 齋藤 吉信

執行役員 伊豆丸 暢

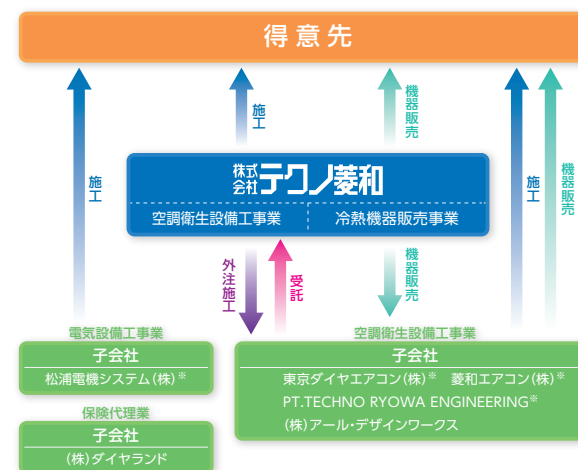
執行役員 富山 潤也

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社* PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING*
所在地 東京都新宿区 所在地 インドネシア共和国
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社* 株式会社アール・デザインワークス
所在地 愛知県名古屋市 所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

松浦電機システム株式会社* 株式会社ダイヤランド
所在地 大阪府守口市 所在地 東京都港区
主要な事業の内容 電気設備工事業 主要な事業の内容 保険代理業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況

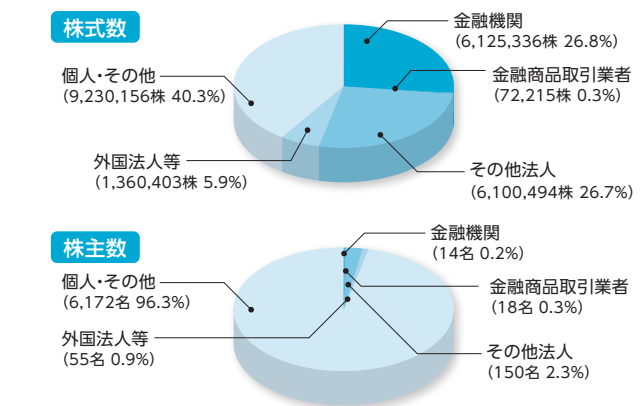
発行済株式の総数 22,888,604株

当中間期末現在の株主総数 6,409名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,159	9.4
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	672	2.9
テクノ菱和従業員持株会	663	2.8

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	http://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸手続き お問い合わせ先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

